

- 2016年6月1日に東北大学にてフィールド評価会を開催

6月1日フィールド評価会

	午前	午後
参加者	VIP・マスコミ	一般
参加人数（人）	23	90



屋内フィールド
 プラント現場を模擬した、ロボット評価試験フィールド



屋外瓦礫フィールド
 熊本大地震・阪神淡路大震災の調査結果に基づき、倒壊家屋内部、コンクリート瓦礫を再現



フィールド評価会の様子

次回フィールド評価会は2016年11月11日に開催予定

- プロジェクト全体として、計画通りに成果が出て来つつある
- 技術開発の進捗状況は、概ね計画通りで、順調に進みつつある
- フィールド評価会の効果は、予定通り出て来つつある
 - 研究者に対するフィードバックが効いてきている
 - 防災ユーザは要素技術の有効性を認めつつある
 - 企業の事業適用の検討事例も出て来つつある
- 出口シナリオや目標イメージは、研究者に浸透し、その実現のための研究者間でのディスカッションも進んでいる
 - その実現のために出すべき成果イメージの共有と、目標の明確化
 - そのための自主的な創意工夫
- 今後、防災ユーザへの売り込みを強化していく必要がある
 - 現場適用を阻害する性能不足を補う
 - 貸し出し機、デモ機の準備
 - フィールド評価試験のさらなる充実
 - ロボットオリンピックのプラットフォームとして採用